

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公表番号】特表2002-525395(P2002-525395A)

【公表日】平成14年8月13日(2002.8.13)

【出願番号】特願2000-571283(P2000-571283)

【国際特許分類】

C 08 F	2/44	(2006.01)
B 29 C	39/02	(2006.01)
C 08 F	2/00	(2006.01)
C 08 F	2/50	(2006.01)
C 08 F	291/00	(2006.01)
C 08 J	5/00	(2006.01)
G 02 B	1/04	(2006.01)
B 29 K	21/00	(2006.01)
B 29 K	69/00	(2006.01)
B 29 L	11/00	(2006.01)

【F I】

C 08 F	2/44	C
B 29 C	39/02	
C 08 F	2/00	B
C 08 F	2/50	
C 08 F	291/00	
C 08 J	5/00	C F D
G 02 B	1/04	
B 29 K	21/00	
B 29 K	69/00	
B 29 L	11/00	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月12日(2006.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 デッドポリマー、反応性可塑剤および開始剤の混合物を含む重合可能な組成物であって、ここで、該重合可能組成物が、硬化する前は半固体である、組成物。

【請求項2】 請求項1に記載の重合可能な組成物であって、前記デッドポリマーが、熱可塑性エラストマーであり、好ましくは、スチレン-ブチレン-スチレンコポリマー、スチレン-イソプレン-スチレンコポリマー、またはスチレン-エチレン-ブダジエン-スチレンコポリマーである、組成物。

【請求項3】 反応性可塑剤および開始剤の混合物を含む重合可能な組成物であって、ここで、該重合可能な組成物が、硬化する前は半固体である、組成物。

【請求項4】 請求項1、2または3に記載の重合可能な組成物であって、ここで前記反応性可塑剤が、アクリレート、メタクリレート、ビニルエーテル、およびジエンから選択される、組成物。

【請求項5】 周囲温度または高温で透明である、請求項1、2、3または4に記載の

重合可能な組成物。

【請求項 6】 デットポリマー内に反応性可塑剤の架橋ポリマー網目構造を含む硬化樹脂。

【請求項 7】 硬化の際に低い収縮度を示す、請求項 6 に記載の硬化樹脂。

【請求項 8】 請求項 7 に記載の硬化樹脂であって、形作られた物品の形態を有し、該形作られた物品が、光学的レンズ、コンタクトレンズ、他のレンズ、光データ記憶ディスク、または透明なシートである、硬化樹脂。

【請求項 9】 物品を形成する方法であって、該方法が、以下の工程：

a) 反応性可塑剤、開始剤、および必要に応じてデッドポリマーおよび他の添加剤と共に混合して、半固体の重合可能な組成物を形成する工程；

b) 該半固体組成物を所望の形状に形作る工程；および

c) 該半固体組成物を重合エネルギー源に暴露し、生じる物品を得る工程；
を包含する、方法。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の方法であって、該方法において工程 b) が、以下の工程：

(i) 前記半固体組成物をプリフォームに形成する工程；

(ii) 所望の形状に対応する鑄型を提供する工程；

(iii) 該プリフォームを該鑄型内に配置する工程；および

(iv) 必要に応じて加熱した状態で、該鑄型を圧縮し、その結果、該半固体組成物が、該鑄型の内部キャビティの形状となる工程；
を包含する、方法。